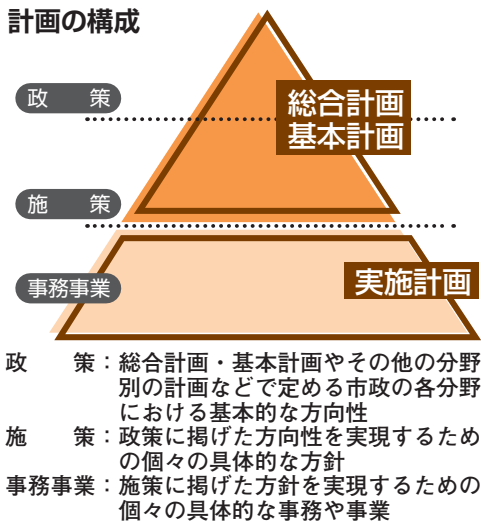


計画の構成



まちづくりの方向性  
『総合計画』

●総合計画の体系

総合計画は、まちづくりの方向性を指し示す市の根幹となる計画で『基本構想』、『基本計画』、『実施計画』からなる3層構造になっています。

『基本構想』は、おおよそ50年後のあるべきまちの姿や私たちの暮らしをイメージして思い描いたものです。このあるべきまちの姿を描いた『基本構想』の実現に向け、取り組む主要な施策を定めたものが『基本計画』で、10年間を単位に策定し、今回策定した基本計画は3期目の計画になります。

また、『基本計画』を具体的にどのように進めて行くのかを『実施計画』として定めます。

●総合計画の進行管理

総合計画の進行にあたっては、『政策』、『施策』、『事務事業』など、各階層に応じ、政策の市民満足度や施策ごとの指標(※)の到達度などの評価を行い、また、事務事業を改善するなど計画の進行管理に努めます。

※指標：基本計画では、施策ごとに目標を設定。この目標に対し、その到達度を測る目安として、多くの方に理解しやすい数値目標を指標として設定しています。

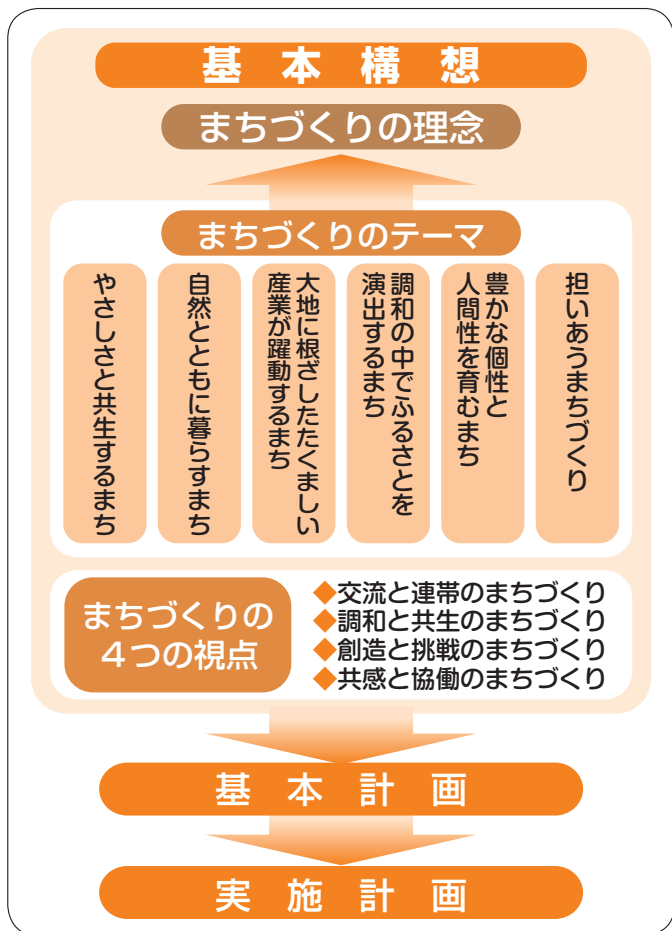
●まちづくりの理念

まちづくりの理念とは、基本構想において実現しようとするこれからのまちづくりにおける統一テーマとして設定したものです。

『自然と調和のとれた住空間、躍動する産業、観光客をあたたく迎え入れるホスピタリティ、個性あふれる文化、豊かな人間性。市民一人ひとりの価値観とライフスタイルが尊重され、豊かさで充実した生が実現できるまち。ここには世界の各地から人が集い、世界の情報が集まる。』

そして、人が、モノが、情報が行き交い、活発な交流が生みだすエネルギーがまちにみなぎり、人々のぬくもりとふれあいを育てる』を基本

総合計画



理念にキャッチフレーズ『人が輝きまちがときめくふれあい交流都市のぼりべっ』を設定しています。

●まちづくりの視点

まちづくりの視点とは、今後のまちづくりを進めていく上での共通の心構えです。

- ◇交流と連帯のまちづくり
- ◇調和と共生のまちづくり
- ◇創造と挑戦のまちづくり
- ◇共感と協働のまちづくり

●まちの将来像

遠い将来、私たちのまちがどのよ

うになっているのか、理想とするまちの姿をイメージし、基本構想として位置付けるまちの将来像です。

- ① やさしさと共生するまち
- ② 自然とともに暮らすまち
- ③ 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
- ④ 調和の中でふるさとを演出するまち
- ⑤ 豊かな個性と人間性を育むまち
- ⑥ 担いあうまちづくり

基本計画では、①から⑥までの5つの将来像に、⑥の『担いあうまちづくり』を加えた全6章としています。